

上石津まちづくり協議会

(仮称) 上石津学園検討プロジェクト第2回ワークショップ

報告書 (項目ごと)

(仮称) 上石津学園検討プロジェクト第2回ワークショップ報告書

項目	地域による学校への支援のあり方について				
議題	教科学習への支援				
Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ	Eグループ	Fグループ
<p><地域から積極的に参画する></p> <ul style="list-style-type: none"> 有償による教科学習の支援。地元野菜などの食材を使ったメニューなどの考案 先生のサポートとして（特に低学年）、何人か補助員として教室へ入る 各教科ごとに放課後学習の充実（英語・ITなど） <p><ことばの発達を支援する></p> <ul style="list-style-type: none"> 言語（語彙）の増加 ←本よみ支援、字幕での映画、作文支援 英語学習の強化（外国人の先生が常駐する） 英語力、コミュニケーション力UPのためにAETの先生から英会話を学ぶ <p><考える力、表現する力を育てる></p> <ul style="list-style-type: none"> 考える力の伸長 ものづくりの支援・なぞとき ディベートを使った学習 自分の意見を発することが出来る子供を育てる 	<p>○社会科関連での支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元の先生に、社会科で古墳の学習（牧田、二又古墳等） ふるさとの長老による歴史の語り部 地域の歴史学習 地域の名所・旧跡を歩く <p>○理科関連での支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 多良（須城谷）、ゾウの歯の化石。 元理科の先生による授業 理科の実験。 <p>○英語関連での支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語の堪能な方の授業 <p>○算数関連での支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習支援員による算数授業 <p>○その他の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 書道、美術、家庭科、調理、ミシンの特技を持つ地域の人 元球児によるボールゲームの指導 教員OBのリストを作成し、その人たちが学習指導に当たる 	<ul style="list-style-type: none"> 外国とのホームステイを実施 外国語の専門教育 専門の教科担任を充実 コミュニケーション能力が身に付くための学習 科学実験を多く取入れ興味ある学習 	<ul style="list-style-type: none"> お米作りをされている方が多いので、社会の授業で見学や体験させてもらう ガラス工芸家（一之瀬） 	<ul style="list-style-type: none"> 学習塾（公設含む）開設、放課後学習支援（宿題等の見守り、支援） 読み聞かせボランティア等の地域の方々や保護者の支援 各地区、保育園との交流 上石津スポーツクラブなどの支援、指導者の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 教育ボランティアの募集と放課後学習支援（バス出発までの時間等） 英語の得意な方等のボランティア登録 ボランティア活動を大切にする教育 上石津の地理の特徴を理解する（防災教育等） 自然の中で楽しみながら学習できるよう、それぞれの分野での専門家を探す 上石津の沿革についての学習 大垣科の学習でも取り組まれているが、俳句の得意な方を募ってはどうか YouTubeをただ見る、ゲームを黙々とするので、会話やコミュニケーションが苦手な子がみられるので、「会話教室」的なものを期待する 地域にみえる専門家をピックアップする 地域の特産品を利用した食品づくり 星空観察の支援（専門的に行っている人がいる） 部活やスポーツ少年団が減っているので、運動が気軽に行える環境があると良い

(仮称) 上石津学園検討プロジェクト第2回ワークショップ報告書

項 目	地域による学校への支援のあり方について				
議 題	ふるさと学習への支援				
Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ	Eグループ	Fグループ
<p><これまでの取り組みを継続してほしい></p> <ul style="list-style-type: none"> 各小学校で行われている茶つみや太鼓などをそのまま続けてほしい 多良ふれあい天文台の活用 多良の文化や歴史についての学習を地域の人とともに行う 上石津郷土資料館の活用 農業体験など 田植え稲刈りなど <p><地域の方々との交流で身近な自然や環境を体験を通じて学ぶ></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティアの活用した課外授業など地域の方々との交流をしながら学んでいく 自然、地域の体験 ←川遊び支援・昔話講話・山歩きや林業、農業体験 自分達の身近な自然を学ぶことで、そこは海につながっていて環境に対してどんな影響を与えているのかを学ぶ 	<p>○体験する</p> <ul style="list-style-type: none"> 「長範みそ」作り体験 時地区の「長範みそ」作り、伝統行事のさしこ そば作り体験 さつまいも作り（地域の手助けで児童が苗植えから、いも堀りまでの体験を続けてほしい） 米作りや畑で、畑達人の指導 農業体験をリードする人の指導 <p>○自然と親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> 牧田川にアマゴの放流（課外活動に於いて） 牧田川にて魚とりなどの遊び 上石津地区に住む珍しい生物調査をおこなう（サンショウウオ、ネコギギ、ウグイ、オオワシ、イシガメなど） カワゲラウォッチング 星空観察会（多良地区） 多良小の天体望遠鏡を見る会。 ホテル観察 野外キャンプの手法を学ぶ 合宿、宿泊所での星空観察 勝地峠のハイキング、えぼし岳、笠ヶ岳の登山 	<ul style="list-style-type: none"> おじいさんおばあさんとの話あいをもって昔の話をしてもらう 地区ごとに昔から取りくんでいることを学ぶ 時でクッキー作りをしているのでその体験学習（小町会というお母さんグループ） 時で味噌作りをしているのでその体験学習（美里会というおばさんグループ） おじいちゃんおばあちゃんと昔の遊びをしたりお菓子作りなどをしてもらう 天文台（多良小）での天体学習 	<ul style="list-style-type: none"> 上石津とは？ 地域ならではの特徴、人材や仕事・環境についての説明をしてもらいたい 時山養魚場 釣り名人 林業について 	<ul style="list-style-type: none"> ウォークラリー、自然とのふれあい 地域の特産品の実習（時、蕎麦など）の収穫（種まきから収穫まで）、地域の方と育てる体験をする 天体観測、星を見ながら学ぶ 自分の住んでいる地区の歴史と文化を聞く、知る、伝える活動 伝統芸能の継承 	<ul style="list-style-type: none"> 刺し子（時地区）の指導。 上石津（牧田、一之瀬、多良、時）の歴史について。 和太鼓（もんでこ）の指導。

(仮称) 上石津学園検討プロジェクト第2回ワークショップ報告書

項目	地域による学校への支援のあり方について				
議題	進路（キャリア）学習への支援				
Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ	Eグループ	Fグループ
<p><多様な人や価値観に触れる機会を増やす></p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しいもの、芸術にふれる機会を増やす ・町内に住むいろいろな職業の人との出会い →たくさんの人と出会うことで、将来の夢が広がり、進路がワクワクするものになる <p><仕事について理解を深める機会を増やす></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな職種の方から仕事内容や、どうやってその仕事についたのかなどのお話を聞く ・上石津出身の企業家（多良小OB）などの講演 職場見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフ指導 ・丸順の自動車部品の生産について学ぶ ・トヨタ、DENSO etcの車関係について ・地元企業の社長さんの話 ・美味しい おコメの作り方 ・小学高学年から中学生が、大工さんに学ぶ（実技や体験を学ぶ） ・庭の手入れを庭師さんに学ぶ ・病院勤務の方から話を聞く ・自治会長さんの話を聞く ・林業について学ぶ ・教師経験者に学ぶ。（先生になって良かったことを、児童生徒に話してもらう） 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな仕事をしている人の体験を話してもらう ・職業体験教室をおこなう ・将来の夢に向かって参考になる話が聞けると良い ・実社会の実情現状を話したい（苦労が多かった） ・なりたい職業を早く見つけるためのきっかけ作り ・外国語を十分に話せるため経験を積んだ人には外国人の先生に学ばせたい ・得意なスポーツで将来に希望が持てる様な指導体制（特待生等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフを体験（上石津に4か所ある）紳士・淑女の人材育成 ・はちみつづくり ・みそづくり ・しいたけづくり ・空き家のリフォーム体験 ・マンドリン製作家（上原？） ・農業をやっている人が多いと思うので、土づくり肥料、作物について誰でも活用できるような教育をしてもらいたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業を学ぶ、地域の産業を学ぶ（インターンシップ含む）、講座を開設 ・目的を持って学べるように ・ALTの長期採用による英語への学び、ふれあい 	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩の経験を聞く会をもつ。 ・英語の力をつける（地域にいらっしやる得意な方をピックアップ）。

項目	地域による学校への支援のあり方について				
議題	その他の支援				
Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ	Eグループ	Fグループ
<ul style="list-style-type: none"> ・他の市内学校との交流の場をもつ ・夏休み等の長期休暇に大学生とか高校生とかに寺子屋的な学習支援お兄ちゃん、お姉ちゃんに勉強を習う ・通学路での見守り ・ICTの伸長（経験）←プログラミングの支援・WEBでの別学校との交流（国内・海外問わず） ・広い視野の伸長←ホストファミリーになって学校に伺う。会話等して頂く（ALT以外の人と） 	<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊りの指導。 ・感謝のつどい（お世話になった方たちに感謝を述べる場を提供する） 	<ul style="list-style-type: none"> ・9年同じ場所なのでいじめや不登校のケアをしっかりして欲しい ・地域の企業を知るための見学体験 ・クラブ活動特色あるものを 	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜授業の（子供たちによる学びの）成果発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・命の大切さを伝える授業 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化ボランティア ・放課後留守家庭教育（1～4年生）を行い、高学年と一緒にバスで下校する。

(仮称) 上石津学園検討プロジェクト第2回ワークショップ報告書

項目	具体的な検討項目				
議題	校舎外の環境整備について				
Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ	Eグループ	Fグループ
<ul style="list-style-type: none"> ・階段に手すりが欲しい ・道が狭いので危ない。歩道がない ・小学校低学年には坂道がえらい。 ・マムシが出る ・グラウンド近くにトイレがあった方が良く ・草刈りが必要 ・避難時や災害時に、グラウンドに車を止められるか？ ・駐車場に行くまでの道が狭い ・プールは小学生まで対応しているか？ ・グラウンドからの車の抜け道をつくる ・バス停にトイレ（特に小学生）がほしい ・小学生は校舎までバス送迎してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場をつくる（給食センターの上側） ・駐車場を整備してほしい。 ・緊急時の一方通行。第2体育館の道を新しく作る。 ・グラウンドの水はけを良くして、走りやすいグラウンドをつくってください。 ・トイレの整備。 ・環状道路をつくる。凍結防止のできたスクールバスルートをつくる。 ・プール。小プールの新設、大プール（現状）を新しくする（水漏れがひどい） ・ゴルフの練習場。 ・テニスコートのネット（防風用）の張替え。 ・バス停の移動。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入り口の（坂の）辺りがうすぐらいので不安 ・駐車場をつくる ・バス停を上にして欲しい ・バス停より校舎までを直線としてほしい ・トイレを外につくる ・道がせまいので、送りむかえの時すれちがえる程度にしてほしい ・現状の登校道路には積雪対策が必要ではないか？（具体的対策は不明） ・駐車場の面積が少なく駐車できない ・校舎までは車道と歩道を分離して設置したほうが良い（してほしい） 	<p><通学路について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路が狭い、暗い ・カーブがあるので車が来ているかわかりにくい ・送迎用車道の整備（校舎付近） ・入口がうす暗く、防犯上改善が必要 ・バス停から学校までの急坂、せまい、暗い ・雪の日バス停から学校までの坂道（低学年には危険では？） ・バス停からの坂道 低学年の子たちへの雪の日の対策 ・雪の坂の対策 ・通学路の木が邪魔している（坂のあたり） ・車が一周できるよう新たな道の整備 <p><グラウンド（運動場）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド、水はけ悪い ・グラウンド雑草処理 ・グラウンドに鹿のフンが多い 衛生面を考え、入ってこないような対策をしてほしい ・トイレがない <p><プール></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プールをきれいに！ ・プール（同上） <p><体育館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館、ゴール（バスケット）小学生用必要 ・トイレをきれいにする ・第二体育館 雨が降ると水浸して環境が悪い <p><駐車場など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車置き場 ・駐車場が少ないので 部活の時など止められない ・駐車場の数 	<ul style="list-style-type: none"> ・抜け道があるといい。（グラウンドから周回道路など） ・引き渡し訓練（緊急避難）時にとっても混雑している。道幅やう回路も含めて再検討し、スムーズになるといい。 ・登校時車両走行禁止区域（スクールゾーン）の再確認 ・バス停から校舎までの徒歩は、小学生は大丈夫か？ ・外構整備をしてほしい。（校舎と野球場・テニスコートグラウンドなどの施設間の法面が雨水などにより掘れている。せっかく傾斜地に校舎があるので、地形を生かして緑が映える整備に） ・（通学路、スクールバスの観点も含む）発着所から学校へは曲がった道であり先が見えず危険。小学生の安全面からも学校敷地内へスクールバスを乗り入れてほしい 	<p><駐車場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が少ない。道が細いので行きの時に大勢の人が集まると困るので、整備してほしい。 ・駐車場の狭さ、外来者の駐車場を大きくする。 <p><防災></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス停から学校への道で複数の道を使う（災害時の対応の為）。 ・校舎の外の避難場所の整備。 ・低学年の避難経路の整備（階段等危ないのでは）。 <p><バス停></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス停から学校の街路灯の整備。 ・校舎の下にバスターミナルを。 ・バスターミナルの整備 ・バス停にトイレをつくる。 ・歩道の整備。 ・小学校1年生の子がああ坂を登って行くのはキツイのでは…。 <p><環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全ボランティアを募る（特に日常的な草刈り等） ・獣が入らない対策を ・防護柵（谷側の設置） ・運動場の周りに防護柵の設置を ・運動場土手の草刈りをボランティアでしてはどうか ・校舎、運動場に照明を ・山の中にある為、特に冬など早く暗くなるので、道路など早く電気がつくように整備してほしい ・学校の周りに柵がない為、不審者の侵入のリスクがある ・学校内の階段を低学年でも登れるように整備してほしい ・運動場にトイレの設置 ・低学年用の遊具があると良い

(仮称) 上石津学園検討プロジェクト第2回ワークショップ報告書

項 目	通学路（スクールバス）について				
議 題	具体的な課題				
Aグループ（牧田西）	Bグループ（牧田東）	Cグループ（一之瀬）	Dグループ（多良）	Eグループ（時1）	Fグループ（時2）
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレを新しく作る。 ・行きと帰りで分ける。 ・行きバス←大きめ、帰りのバス←小さめ ・乗り降りを誰が見るのか。 ・バスの中にカメラをつける。 ・バスの中の見守りは継続。 ・子どもが降りたあとは、どうなる。 ・バス停はコミュニティバスのバス停で。 ・デマンドタクシーの降車場を活用。 ・帰りのバス停に防犯カメラをつける。 ・中を通す。 ・国道をまたがない。 ・朝のバスの台数が心配。 ・帰りのバス停は、集団登校の集合場所？ ・交番が近いところ。 ・本数を増やす。 ・学校の中でバスを持てる環境をつくる。 ・東山田にバス停を作る。 ・学校のトイレはオープンしておく。 ・登校集合場所は学校。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスを数台、小型のバスで村の中を通る。 ・和田もバス（通学）にしてください。 ・高学年は路線バス、低学年はコミュニティバス。 ・今走っているコミュニティバスを使う。 ・コミュニティバスを使った方がよい。（低学年だけでも） ・オンデマンドのバスを通学にも利用する。バス停が近くなる。朝夕の開いている時間。 ・中学生の自転車通学を認めて欲しい。（部活の時など） ・中学生の下校時間まで、小学生が放課後学習をする。（小中一緒に下校する） ・全員が席に座れるスクールバスが欲しい。（今、中学生は立っている子もいる。低学年はあぶない） ・中学生、高学年は路線バス。低学年はコミュニティバス。 ・路線バス利用は絶対不可。 ・下校の時間が小中で違うので、どのようにバスを走らせるのか。防犯、安全性を考えて。 ・上野のバス停まで集団登校する。 ・帰りは小学校から歩いて下校でも良いかと。 ・小学生用にコミバスを用意する。 ・降車・乗車場所を各地区ごとに。 ・スクールバスを買う。専用のスクールバスを買う。 ・村の中を通せる大きさのバスで中を通す。（小さい子の安全） ・二又地区は、バス停が2か所必要。 ・帰りのバスの時間はどうなっている。 ・旧道を小さなバスで回ってほしい。 ・バス停までの送迎方法をどうするか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスターミナルを作ってほしい。 ・バスターミナルにトイレを作る。 ・車道が狭い。 ・屋根通路を作る。 ・駐車（乗降） ・環状道路の新設。 ・道路をつなぐ。 ・拡幅工事をお願いしたい。 ・歩道がない。 ・細い道なので危険。 ・徒歩の子用の歩道（スロープ、階段）を作る。 ・歩道を確保。 ・道を作る。 ・トラックの通行が多く事故に巻き込まれないか不安。 	<ul style="list-style-type: none"> ・（奥）バス停新設 ・奥からの新規路線 ・最寄りのバス停で乗降可に。 ・バス停までの通学路の安全点検が必要。 ・緊急時の下校の際のバスの運行に融通が利くのか。 ・現状の多良小のスクールバスの運行が必要。ハイエースでも良い。 ・人口統計から子どもがいるいない等を把握した柔軟な運行をして欲しい。 ・コロナの時、バスが小さい。 ・高低差のある距離。 ・小学生にとってバス停まで歩かせるのは安全なのか。 ・1地区1台になりかねないか。 ・集団下校は、引き続き行われるのか。 ・小回りの利く運行を。 ・（西山）バス停を作る。（子どもがいるとき） 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地区の内容を知りたい。 ・帰宅バスは何本か。時間帯で分けて。 ・駐輪場があるとよい。 ・見通しが悪い。 ・雪が降った時に、バスのすれ違いができない。 ・道をまたいでバス停 ・見える化 ・帰り専用降車場を ・児童に合わせたコース変更。 ・カーブミラーが凍って見えない。 ・学童代わりにサブセンターを開放して欲しい。 ・一旦停止化 ・下校用にバスを設ける。 ・見守り隊の増員要請。 ・乗用車（デマンド）での対応。 ・児童の数、家の場所でコース変更（年単位） ・宮前の変更 ・一人になりやすい地区だけど、大丈夫か。 ・一人の時の対応、連絡体制。 ・時周回ルートバス 	<ul style="list-style-type: none"> ・登校は集合場所を決めて乗ればよい。 ・低学年の下校は2便又は3便欲しい。 ・低学年の下校は、なるべく近くまで。 ・現行の低学年数、10人程度 ・下校の時は、各地区で1台のバスできめ細かく。 ・毎年、子どもの人数により柔軟に対応して欲しい。 ・雪が多い。多いときは除雪が必要。 ・打上一細野一住鹿一時山の巡回。 ・巡回するのが難しければ、支所や時小でまとめて降ろして欲しい。 ・低学年の下校は、できるだけ巡回できないか。 ・子どもの居住地に合わせて路線を。 ・低学年のみの乗車の時は、家の近くまで。 ・時地区で2ルート。大型バスで時小又は時支所まで、そこで乗り換えて2ルートに分かれる。 ・打上を含め、時1周する。